

2017年度(平成29年度)

上智大学大学院 学位授与式・助産学専攻科修了式 式辞

上智大学長 曄道佳明

2018年(平成30年)3月27日

本日、修士、博士の学位を取得された皆さん、助産学専攻科を修了された皆さん、おめでとうございます。また、ご父母並びにご関係の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

本学で、研究の道を歩み、大きな成果を挙げて上智を巣立つ皆さんがここに集いました。この場から拝見しても、お一人お一人の顔は、これからの社会を担う、信頼に足る精鋭たちとしての輝きを持ち、心強い限りです。これからは一人一人が選択したそれぞれの進路に歩を進めることになります。

皆さんが備えた専門性とは、いったい皆さんの人生にどのようなインパクトを与えるのでしょうか？例えば、就業にあたってその専門性が評価されたかかもしれません。あるいは、その専門性によって進路を選ばれた方も多いでしょう。しかし、さらに視野を広げれば、皆さんが身に付けた専門性は、人生のあらゆる場面での信頼性の獲得に大きく貢献すると思います。皆さんの意見や見解は、あるいは、皆さんの判断や決断は、その専門性に裏打ちされたものとして周囲を知らず知らずのうちに説得しているからです。そこには、その見解は彼の、彼女の専門性にに基づき構築されているものである、という信頼が存在します。大学院での修学とは、単に専門知識や課題解決の方法論の修得だけでなく、皆さんが今後歩む人生において、他者との相互理解に一定のアドバンテージを与える力の修得ともいえるのです。

もちろん、在学中に修得した専門性はこれからも磨き続けなければなりません。同じフィールドに留まるか否かに関わらず、専門性の修得を通して会得した思考のプロセスは、これからも大いに発展させるべきであることは言うまでもありません。社会の構造が複雑化し、この世界がますますグローバル化、デジタル化していく中で、皆さん自身もその社会変化に応じて次なるステップを探し求めていく必要があります。皆さんの学位とは、その社会の変化、変革に柔軟に対応する、あるいは新たな課題を見つけ、そして解決する力があることの証明でもあります。

次世代の社会の様相は、いまだ見えてきていません。これから起こり得る産業構造の変化も、社会制度の変化も、また国際関係の変化も、今現在では未知なるものと表現せざるを得ません。皆さんは、その専門性をもって、あるいは深い思考のプロセスを理解した者として、新しい社会の構築に貢献が期待されています。その社会構築のプロセスでもっとも重要なことは新しい社会倫理の形成であると思います。では、その最たる本質は一体何でしょうか？先ほど、カトリックセンター長から使徒パウロの手紙(注)が紹介されました。愛は、自慢せず、高ぶらず、そして自分の利益を求めないと説かれています。皆さんの他者への思いや視点は、専門性を有するエキスパートとして十分に準備されているのでしょうか？専門性の高い人々こそが、社会の本質である愛について常に思いを馳せること、これが新しい社会構築の成否の根本だと思います。

どうぞ、上智大学の教育精神を常に心にとどめてください。Men and Women for Others, with Others. この言葉は、他者への貢献を呼びかけているだけでなく、いずれ人生を振り返るときに、皆さん自身に充実感、幸福感を与える人生の本質を表しているのです。

本日は、誠におめでとうございます。

---

(注)

コリントの信徒への手紙 12章31節、13章4～8節

[兄弟の皆さん] あなたがたは、もっと大きな賜物を受けるよう熱心に努めなさい。そこで、わたしはあなたがたに最高の道を教えます。愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。